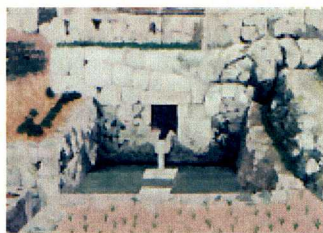


はくぶつかんネット

第5号

～ GINOWAN MUSEUM ～



↑ 昨年度の教育長賞作品 →
本年度の作品は会場にて
ご覧ください。



2001年

9・10月

奇数月の15日発行
(次号は11月15日)

発行：宜野湾市立博物館
〈TEL〉 098-870-9317
〈FAX〉 098-870-9316
〈ホームページ〉 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>



博物館イメージキャラクター
天女ちゃんと察度

市内小中学生

文化財図画作品展

～ 9月22日(土) から9月24日(月) まで開催 ～

観覧無料

午前9時～午後5時

23日は開館いたします

毎年、宜野湾市教育委員会市立博物館の主催で、行っております文化財図画作品展は、今年で10回目を迎えることになりました。これは市内の小中学校の生徒たちに、宜野湾市内にある文化財、または宜野湾市に残る伝説、地域の踊りや祭り、昔の風景・風物などを描いてもらうことによって、より宜野湾の歴史や文化にふれ、知ってもらうことが目的なのです。毎年力作が集まり、作品には普天間神宮、森川の泉、我如古ヒージャーガー、羽衣伝説、エイサー、羽衣まつりなど様々なものが描かれます。

今年も生徒たちに夏休みを利用して描いてもらい、9月10日(月)に各小中学校の図工・美術担当の先生方で審査会を行い、各賞を選出しました。今年も力作181点が揃い、それぞれ個性的な作品が集まりました。教育長賞は、小学校中学年(3、4年生)の部で下地千智さん(普天間小学校)、小学校高学年(5、6年生)の部で下地悠太くん(普天間小学校)、中学校の部で盛山梨沙さん(宜野湾中学校)が、選ばれました。3人とも普天間神宮を描いていますが、下地千智さんは3年生ながらきれいに描かれており、下地悠太くんは普天間神宮を大きく全体でとらえ、堂々とした描き方が好評でした。また中学校の盛山梨沙さんは中学1年生とは思えないほど上手に描いています。博物館の職員いわく、「まるで写真みたいだ」と絶賛していました。

その他、金賞、銀賞、銅賞の作品、また入選の作品など、どれも子どもらしい個性的な作品で楽しい作品展になっていますので、ぜひお越しください。

企画展

『大山の自然展』の報告

8月3日から始まった企画展「大山の自然～私たちの身近な生き物たち～」は好評をもちまして、9月2日(日)に終了いたしました。

今回の展示は、県内でも貴重な湿地の自然が残る大山ターンム畑を中心にそこにすむ植物や野鳥、昆虫や小動物など様々な生き物たちを紹介することで多くの市民の方に自然の大切さ、重要さを知ってもらうことでした。

今回の入場者数は1,323名で、夏休み期間中であつたためか、子どもたちも多く、企画展は大いににぎわいました。

今回、意外と知られていない大山ターンムの自然を見て、入場者は貴重な自然が残っていることに大人も子どもも驚き、そしてターンム畑の大切さを感じていたようです。子どもたちも普段あまり見ることのできない生き物の展示を見て驚き、特に今回の生き物展示の目玉であったテングヨウジを見て、はしゃいでいました。

今回展示したテナガエビやハゼなどは現在も博物館のロビーに展示してありますので、興味のある方はお越しください。テングヨウジもいますよ。



▲ 展示会の様子

家族連れでにぎわいました

企画展事業

『大山の自然観察会』の報告



▲ 観察会の一コマ

熱心に話を聞いている様子



▲ 身近な自然を満喫しました

企画展「大山の自然～私たちの身近な生き物たち～」開催中の8月18日(土)、19日(日)の2日間、大山ターンム畑の自然観察会を行いました。

展示だけではなく、実際にターンム畑に行つて観察することで、より自然を身近に感じようといわれました。講師は展示会の準備でも協力してくださいました嵩原建二さん(県立博物館学芸員)と、尾川原正司さん。

両日とも天気は曇りで途中雨が降ったりもしましたが、参加者は講師の話を熱心に聞きながら、ターンム畑の自然を満喫していました。市内唯一のメヒルギ、あぜ道に生える植物、エサを取る野鳥、穴を出たり入ったりするカニなど参加者はいろんな生き物を観察することができたようです。

今回の観察会は好評に終わり、参加者の中からは、「また観察に来てみよう」「散歩のコースにしてみるかな」などの声も聞かれました。大山のターンム畑に行ったことのない方はぜひ一度行つて自然を感じてくることをおすすめします。

企画展

木彫り・アットゥシ織り・アイヌ文様刺繍の匠

— アイヌ伝統工芸展 —

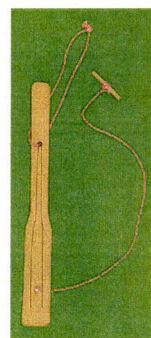
平成13年 11月17日(土)・18日(日)・19日(月) **3日間**

北海道などに古くから住んでいるアイヌの人たちは、自然の恵みに感謝し、人間を深く愛し、平和な暮らしを送っていた民族です。
アイヌ伝統文化は、アイヌ民族が自然と共生する生活から創造・継承してきた、彼らの誇りです。

今回の企画展では、北海道より4人のアイヌ伝統工芸作家を招き、「木彫り」「アットゥシ(樹皮)織り」「アイヌ文様刺しゅう」のすばらしい作品を紹介します。
また期間中は、アイヌ伝統工芸品の制作実演や、アイヌ楽器「ムックリ」の演奏実演、アイヌ文化の貴重なビデオの上映会、アイヌウタリとウチナーンチュの交流会など、たのしいイベントを予定しています。

アイヌ・モシリ(人間の住む静かなる大地という意味)とオキナワ。
風土も気候も非常に異なる日本の北と南。
この企画展を通して、多くの方々にアイヌ民族の文化、こころ、歴史にふれていただきたいと思います。3日間という、短い期間ですが、アイヌ文化を身近に感じてみませんか?
みなさまの参加をお待ちしております。

— アイヌ伝統工芸展 — に関するお問い合わせは
電話098(870)9317 宜野湾市立博物館 金田(カナタ)まで



▲アイヌ楽器
ムックリ(口琴)
mukkur

★市立博物館への資料の提供をお願いします

市立博物館では、宜野湾を知ることのできる文化や歴史、自然に関する様々な資料の提供を呼び掛けています。

宜野湾市出身の移民に関する資料や、普天間基地に関する資料、年中行事で使われた道具、昔のくらしが分かる道具や写真、古い地図・写真・書類や手紙・映像などなど。
まずは博物館にご相談下さい。

連絡先 : 870-9317

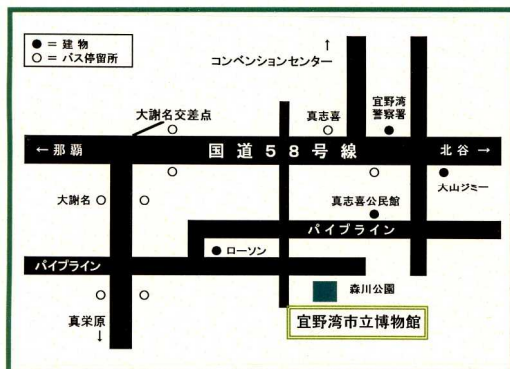
平成13年度の事業あんない

月	日	曜日	内 容	期 間
9	22	土	市内小中学生の文化財図画作品展 ○ 表彰式は22日午後2時から行います	9月24日まで ※23日は開館
10	1	月	IT講習 [会場提供 (企画展示室)] ○ 申込みは締切りました	10月26日まで
11		土or日	講演会【予定】	
	17	土	企画展「木彫り・アットウシ織り・アイヌ文様刺繍の匠 — アイヌ伝統工芸展 —」【予定】 ○ 期間中に制作実演・演奏実演・ビデオ上映会・交流会を行います	11月19日まで ※3日間
1			企画展「宜野湾の食と年中行事 (仮名)」 ○ 開催期間中に講演会・講習会を予定しております	2月まで

※ 日時は未定の場合がありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から

